



共生社会

『これまでの歩みとこれから』

「皆でサッカーがしたい！」という当事者の声を実現させようと、福祉事業所職員有志8名が実行委員会を発足（2015年）クラブは趣旨に賛同し、これまでに5回のフットサル大会を協働開催してきました。当初は、体力づくりや余暇活動の充実といった目的からスタートした大会は、回数を重ねる毎に参加者が増加し、2018シーズンより新たな取り組みが誕生！『藤枝MYFC応援ツアー』。2020シーズン、新たな一歩に向けて…。

活動場所 : 藤枝MYFCサッカー場内フットサル場

取組テーマ : ダイバーシティ（共生社会）

協働者 : 企業／行政／福祉事業所

協働者名 : 株式会社田子重、株式会社GV、ダイソー水産株式会社、
サカイ産業株式会社自動車事業部、
焼津チャレンジ・フットサル大会実行委員会

活動で工夫した点

施設を利用されるひとりでも多くの方に参加し、楽しんでいただけるよう、クラブスタッフも実行委員会の打ち合わせに参加、職員の方の意見・情報のもと、環境面・運営面での改善に工夫・努力しました。

活動で大変だった（苦労した）ポイント

参加される福祉事業所（複数）とクラブ間の日程調整。雨天時に備えての会場含め準備。

クラブや地域の活動後の変化

チーム全体での参加が根付き、クラブ恒例イベントへと成長。
行政関係者の参加や行政理解を得るまでに成長。



協働者の声

福祉施設職員：サッカー選手に参加してもらえることは嬉しい！選手を身近に感じることができた！一緒にボールを蹴った選手を応援したいとの声が施設利用者から上がり嬉しい！
協賛企業代表：予想以上の参加人数に驚きました！皆さん楽しそうに参加され、喜んでいただき光栄です。

参加者の声

福祉施設利用者：次回はいつですか？とても楽しみです！

活動の「ここぞ！」というPRポイント

今後の展開（2015年～フットサル大会⇨2018年～応援観戦ツアー⇨2019年4月障がい者就労支援プロジェクトスタート）

補足

大会を通じて、福祉施設利用者さんの選手を応援したい！という声で“応援”という『支え手』の役割が生まれ、次は共に創り高め合う地域共生社会の実現に向かって動き出します。